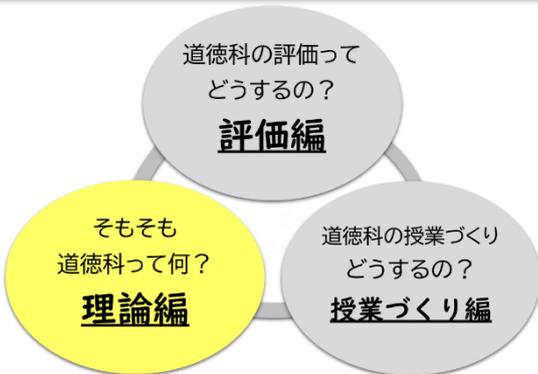


# そもそも道徳科って何？ 【理論編】

「特別の教科 道徳」（以下、「道徳科」）



◇ 道徳科の特質を生かした授業づくりについて理解できます。

## 【準備物】

- ・研修資料
- ・ワークシート ・使用したい教材
- ・学習指導要領解説（特別の教科 道徳編）



## プログラム①の概要

- ◆ はじめに
  - ・何のために道徳教育や道徳科の授業を行うのか
  - ・どんなときに心が育まれるのか
- ◆ 道徳科とは
  - ・道徳教育の要となる道徳科とは
  - ・道徳科と他の教科との違い
- ◆ 道徳科の目標
  - ・学習指導要領における道徳科の目標
  - ・道徳性を構成する諸様相
- ◆ 道徳科の学習活動
  - ・自己を見つめるとは
  - ・多面的・多角的に考えるとは

## 授業づくり 基本事項の整理

スライド資料



進行役

道徳科の授業づくりにおいて基本となることを確認していきましょう。

ポイント

【道徳科の目標】（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」）

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※（ ）内は中学校

## 目標のイメージ

道徳科の授業は、  
「自己の生き方について考える」  
時間です。

「何のために、  
どう生きるのか」  
など

生き方について考えるための  
基になるのが  
「道徳的諸価値の理解」です。

道徳的な生き方について考えるために、  
道徳的価値の大切さを理解する。

生き方についての考えを深めるためには、  
①自己を見つめること（主体的であること）  
②物事を多面的・多角的に考えること（対話的であること）が必要です。

まず、自分の生き方を真剣に見つめる、自我の殻に閉じこもらず、広く他者の考えや意見を聞き、自己の考えを持つ。

指導資料『「対話的な学び」を通して生き方についての考えを深める道徳科の授業をめざして』（令和2年3月）

## 〈理論編（授業づくり 基本事項の整理）のライド資料〉

進行役が説明に使うライド資料等は、兵庫県立教育研修所の Web ページに掲載しています。右の二次元コード、もしくはトップページの各種ツール「**先生の研修支援**」のページからダウンロードしてご使用ください。

URL <https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimuken/doutokupro/top.html>



## 【理論編（ライド資料）の概要】



以下は、「授業づくり 基本事項の整理」で使うライドの例です。使用する際には、「ノート」欄に書いてある説明を参考にしてください。

### ◆ はじめに

Step1 道徳科の評価について 基本事項の整理

道徳科の授業づくりにおいて基本となることを確認していきましょう。

道徳…授業づくり…

Step1 授業づくり 基本事項の整理

1. 何のために、道徳教育や道徳科の授業を行うのでしょうか？

外面  
表情  
言葉  
行動

内面  
心  
道徳性

Step1 授業づくり 基本事項の整理

2. どんなどきに、心が育まれると思いますか？

- 感動したとき。
- できることができたようになったとき。
- 嬉しい気持ちになったとき。
- つらい出来事があったとき。
- …

・何のために道徳教育や道徳科の授業を行うのか  
・どんなどきに心が育まれるのか

これらを問いかけます。

### ◆ 道徳科とは

Step1 授業づくり 基本事項の整理

3. 道徳教育の要となる道徳科とは

全教育活動を通じて行う「道徳教育」

学校行事 各教科 特別活動 学習の時間 総合的な学習の時間

要：道徳科

Step1 授業づくり 基本事項の整理

4. 道徳科と他の教科との違い

教科：到達点 道徳科の授業のねらい

・道徳教育の要となる道徳科とは

・道徳科と他の教科との違い

これらについてライドを基に説明します。

### ◆ 道徳科の目標

Step1 授業づくり 基本事項の整理

5. 道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となるA道徳性を養うため、  
B道徳的諸価値についての理解を基に、  
自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、  
道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

Step1 授業づくり 基本事項の整理

5. 道徳科の目標

道徳科の授業は、「自己の生き方について考える」時間です。

「自分のために、どう生きるのか」など

まず、自分の生き方を具体的に見つめる。自分の眼に留まらず、ふくむ他の考えや意見も受け入れ、自己の考えを持つ。

生き方についての考えを深めるためには、  
①自己を見つめること(主体的であること)  
②物事を多面的・多角的に考えること(「対話的であること」)が必要である。

Step1 授業づくり 基本事項の整理

道徳性とは、よりよく生きるための人格的特性

道徳性とは、道徳的諸価値を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間としての)生き方についての考えを深めること。

Step1 授業づくり 基本事項の整理

「道徳的諸価値についての理解を基に」  
道徳科の授業は、特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動しようとする行為は許さず、  
自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に捉え、自己(人間としての)生き方についての考えを深める

経験や体験を通して「知っている」こと (授業前)

理解の深まり・新たな気付き・納得 (授業後)

・学習指導要領における道徳科の目標、道徳性を構成する諸様相を確認します。

・道徳科の目標を構造的に示しながら、その意味を解説します。

### ◆ 道徳科の学習活動

Step1 授業づくり 基本事項の整理

自己を見つめる 【内容項目：善悪の判断】

〇〇さんの話を聞いて、自分が正しいと考えたことは進んでほしいな。

私も、進んで正しいことをしてほしいな。

例：道徳的価値を実現することの難しさや大切さを自分事として考えている姿。  
例：読み物教材の登場人物を自分に置き換えている姿。  
例：現在の自分を振り返り自らの行動や考えを見直している姿。

Step1 授業づくり 基本事項の整理

多面的・多角的に考え 【主題：善悪の判断】

見て見ぬふりは、自分もみんなもしい気持ちにならないね。

自分で何が正しいかを考えて、よいことをすることの大切さを教えてもらったよ。

例：道徳的価値の理解をさらに深めている姿。  
例：自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている姿。

「子どもの学びの姿」に即した指導とは

内容項目は「善悪の判断」か、「ねらいをどう考えていけばいいのだろう。」

どんな発言が子どもから聞かれたら、ねらいに近かったらいいかな。

「ねらいに近づく子ども達からは、どのような発言やつづきや聞き分けられたらうか」と考えたら、具体的にイメージできたらいい。

・生き方についての考えを深める授業づくりに向けて、  
自己を見つめること(主体的であること)

物事を多面的・多角的に考えること(対話的であること)に関わる学習活動を確認します。